# 能登の里海を守る：海育実践と地域活性化プロジェクト

細谷　夏実　教授
（社会情報学部　社会情報学科　環境情報学専攻）

## １．はじめに

石川県能登地域は、新潟県佐渡市と共に 2011 年に我が国で初めて「世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage System: GIAHS）」に認定されました。農林水産省ホームページの「世界農業遺産とは」では、「世界農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）であり、国際連合食糧農業機関（FAO）により認定されます。」という説明をはじめ、世界農業遺産の詳しい内容が紹介されています。

私たちのゼミは、この世界農業遺産に認定された貴重な里海里山を有する能登半島の石川県鳳珠郡穴水町とその隣の能登町で 2015 年から活動を始めました。これまでに、里海里山保全につながる活動（穴水町の鹿波椿保存会などと協同して行った、自生する椿を活かした「鹿波椿茶」の商品化と販売）や、子どもたちに海の大切さや楽しさを伝える海育（うみいく）の活動などを行ってきています。

また、このようなゼミの活動がきっかけとなり、本学は穴水町と 2018 年に包括連携協定を締結し、2 度（2021 年、2024 年）の協定更新を経て、現在も連携活動を継続しているところです。

一方、2024 年元旦に発生した能登半島地震では、穴水町、能登町も甚大な被害を受け、復興はまだ途上にあります。今年度（2024 年度）は、地域の復興状況を逐次把握しながら、1）オンラインなどを活用した子どもたちへ海育活動の実践、2）大学祭などにける、能登の里海の重要性、復興状況を含めた能登への理解を深めてもらえるような情報発信、を行うことを計画しました。

## ２．活動内容

今年度当初に計画していた活動のうち、子どもたちへの海育活動の実践については、小学校が震災後の対応に追われていたため実施することができませんでした。一方、情報発信については、大学祭での新たな試みも含めて実施することができました。


震災後から現在までの穴水高校生の活動を記録した映像を見る来場者

1)「能登展」での能登の紹介と物産販売（2024 年 10 月 26・27 日）

ゼミでは 2016 年から毎年、大学祭で「能登展」を出展しています。

今年度の展示については、現地での活動はできなかったものの、ゼミの学生たちが昨年度の能登での活動などを中心にポスターを作成し、能登の魅力を紹介しました。さらに、穴水高校の先生方の協力を得て、震災以降の穴水高校の状況や活動を記録した映像の紹介、地元の新聞に掲載された記事や穴水高校だよりの紹介などを通して、情報発信を行いました。


1 月からの「穴水高校だより」と穴水高校生の活躍を伝える新聞記事の展示

物産販売については、穴水町と同じく本学と包括連携協定を結んでいる北海道美瑛町、広島県世羅町との3町協同で、展示とは別にA棟3階入口のピロティ部分で行いました。震災後に営業を再開した道の駅、椎茸農家、お菓子屋さん、海洋深層水施設、福祉工房などから商品を送ってもらい、例年以上に多くの商品を販売し、売り上げを地元に還元することができました。鹿波椿保存会、エンナカ株式会社（ゼミ卒業生が起業した会社）などとゼミ生が協同で商品化した「鹿波椿茶」、及び椿オイルの販売も例年同様に行いました。



たくさんの方が来場してくださいました

大学祭当日は、能登展にリピーターとして来場してくださる方も多く、ゼミの卒業生も訪ねてくれました。また、ゼミ生は町の法被を着て説明や販売に活躍しました。



営業を再開した能登のお店から多くの商品が届きました

2）能登復興支援の映画上映会

年度としては昨年度になってしまいますが、前回の報告書には記載が間に合わなかった活動について、報告をさせていただきます。

2024年3月30日に能登復興支援の活動として、エンナカ株式会社を起業したゼミ卒業生が中心となって映画上映会を企画しました。映画は、能登半島先端の珠洲で珈琲店を開いた女性が主人公の「さいはてにて　やさしい香りと待ちながら」（2015年公開、チアン・ショウチョン監督）です。当日は150名近い方が来場してくださいました。また、上映後に主演の永作博美さんが登壇して、映画を通して感じた能登の魅力や人々に対しての思いを語ってくださいました。

会場の前では能登でのゼミ活動の紹介も行い、来場したみなさんに能登へ思いを寄せていただく機会になったのではと考えています。


チアン監督のビデオメッセージを観る来場者の方たち


上映会場前でのゼミ活動の展示の様子

## ３．まとめ

2024年度は、現地での活動はできなかったものの、大学祭における新たな試みも含め、能登に関するさまざまな情報発信ができました。

今後も地域の方たちとの連携を深め、能登の魅力の発信、子どもたちへの海育活動、さらに復興支援に少しでも役に立てるような取り組みを継続して行っていきたいと考えています。